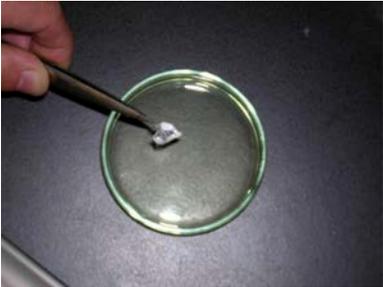


整理番号	HT26114	分野	化学	(キーワード) 酸化分解性ポリマー
------	---------	----	----	-------------------

神奈川大学

キッチンハイターで分解できるプラスチック ～酸化分解性ポリマーを作って分解してみよう～

先生(代表者)	木原 伸浩 (きはら のぶひろ) 理学部・教授			 普段は少し違います
自己紹介	化学って面白いんですよ。 私たちの身の周りのモノは全部物質でできています。化学というのは物質を扱う学問ですから、私たちの身の周りのモノは何でも化学の対象です。しかも、今までにはなかった物質を作ることだってできます。アレってどうやって作るんだろう、とか、こんな物質だったらもっと凄いことができそうだ、とか。まあ、分子の工作ですね。皆さんにも、いろんなモノに触れてもらって、化学が好きになってほしいなあ。			
開催日時・ 主な募集対象	平成 26 年 8 月 3 日(日)	(対象)	中学生 高校生	(人数) 40 名
集合場所・時間	神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス 6 号館		(集合時間)	10:30
開催会場 (集合場所)	神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス 住所: 〒259-1293 平塚市土屋 2946 アクセスマップ: http://www.kanagawa-u.ac.jp/access/shonan_hiratsuka/			
内 容				
<p>プラスチックのリサイクル、してますか？ リサイクルされたプラスチックは、大変な手間をかけて再生されています。もしプラスチックが簡単に分解してくれるなら、捨てるのもリサイクルも簡単なのに...</p> <p>このプログラムでは、「キッチンハイター」をかけるだけで完全に分解してしまう、最新のプラスチックを紹介します。どうして簡単に分解するのか、そのトリックを講義で学んだ後、実際にそのプラスチックを作ってみましょう。そして、そのプラスチックから丈夫なフィルムを作り、さらに、そのフィルムを「キッチンハイター」で分解させてみます。丈夫なプラスチックなのにあっという間に分解してしまいます。</p>				
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>分解前のプラスチックフィルム (厚さ 30 ミクロン) シャーレの中にはキッチンハイターが入れてある</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>分解中の様子 泡を出しながら分解していく 赤い色がついているのは、分解中の物質の色</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5 分後 分解は完了していて、何も残っていない</p> </div> </div>				

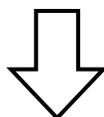
スケジュール	持ち物
10:30-11:00 受け付け(湘南ひらつかキャンパス 6号館 228号室)	筆記用具・ノート
11:00-11:15 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)	特記事項
11:15-12:00 講義「酸化分解性ポリマー:自在に分解できるプラスチック(講師:木原伸浩)」	
12:00-13:00 昼食	実験をしますので、髪が長い場合にはまとめ、マニキュアなどをご遠慮ください。白衣をお渡しして着ていただきますが、念のために汚れても大丈夫な格好でおいください。また、ハイヒールは避け、スニーカーなどの動きやすい靴をお願いします。
13:00-14:00 実験1:「酸化分解性ポリマーの合成」	
14:00-14:40 休憩・クッキータイム	
14:40-15:40 実験2:「酸化分解性ポリマーの成型と分解」	
15:40-16:00 修了式(アンケート記入・未来博士号授与)	
16:00 解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名 :	神奈川県 平塚研究支援課 ・ 高木 敦子(たかぎ あつこ)
住 所 :	〒259-1293 平塚市土屋 2946
TEL 番号 :	0463-59-4111
FAX 番号 :	0463-58-9688
E - m a i l :	takaga01@kanagawa-u.ac.jp
申込締切日 :	平成 26 年 7 月 24 日(木)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
木原 伸浩	H20-22	基盤研究(C)	20550113	ヒドラジドの特性を利用した酸化分解性ポリマーの開発と応用
木原 伸浩	H23-25	基盤研究(C)	23550141	酸化分解性ポリマー材料の開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。